

小学校 ICT 活用授業 児童のプレゼンカコンテスト

学校 (団体)	フリガナ オオサカ		フリガナ オオサカシリツ ウリワリシヨウガッコウ		
	大阪	都 道 府 県 区 組 私	国 都 道 府 県 市 立	大阪市立瓜破	
指導 教員名	姓	名	担当学年、クラス名		
	フリガナ	緒方	愛恵	4 年 1 組	

単元タイトル	「発見！ わたしたちの大和川 – 未来がよるこぶ楽園をつくろう」				
単元のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境について考え、意欲的に学習課題を発見することができる。 ・ 課題をもって、計画的に活動し、いきいきと追究することができる。 ・ 自分が学んだことを、分かりやすく工夫して表現し、伝えることができる。 ・ 学習活動を振り返り、自分や友達の良さに気づいたり課題を深めたりすることができる。 ・ 生活と関連付けて考え、自分達にできることへ、行動をおこすことができる。 				
児童のプレゼンカやコミュニケーション力を育成するために工夫した点	<p>ソフトウェア「ピッケのつくるプレゼンテーション」を活用し、各班で設定した課題をもとに協働学習させ、まとめを発表し合った。このソフトは、4年の児童にも簡単に操作でき、画像の取り込みや編集作業まで自分達で行うことができた。プレゼン作りには、事前にコンテ（流れ図）をしっかりと作成させ、発表したい内容の裏づけとなる事象を整理したり明確にさせたりすることに重点をおいて取り組ませた。また発表の際には、分かりやすい言葉を用い、自分達の意見や思いで表現させた。環境会議では相互ディスカッションし他者の意見を聞き共感しながら、自分達にできることを考えさせた。</p>				
ICT 活用とその工夫した点	<p>学習形態として一斉学習・個別学習・協働学習を単元の中にちりばめ、その場面ごとに I C T 活用の意図を設定した。導入の一斉場面では映像や資料を用いて興味や関心意欲の刺激し、個別・協働場面ではインターネットを活用した検索やプレゼンソフト（ピッケ）を活用し意欲の持続と解決への喜びを、再び終盤の一斉場面では発見や理解の定着・さらなる学びの連続につなげることができるように考えた。また、各テーマからの発表をもとに環境会議の際も議論で自分達の言いたいことを、プレゼン画面を活用して表現させた。内容は学校 Web に U p して発信し、他校との交流を促した。</p>				
ICT 環境 (PC, ネットワーク、コンテンツ、周辺機器)	<p>活用機器 ・ ノート P C 9 台 無線 L A N ルーター 周辺機器 ・ プロジェクタ コンテンツ ・ ピッケのつくるプレゼンテーション ・ デジカメ ・ プリンタ ネットワーク ・ 校内 L A N 及びインターネット接続環境 ・ 書画カメラ 等</p>				
教科単元	総合的な学習の時間	対象学年	4 年	総時間	18 時間

単元計画（単元の流れと実践の内容を記入してください。）		
導入 授業時間 （ 1 ～ 5 ）	学習内容 大和川について知ろう (1) 大和川ってどんな川だろう。 1（映像や画像資料をもとにウェビング） (2) 調べたいテーマを考えよう。 2（課題設定） (3) 大和川の調査に出かけよう。 2（社会見学 徒歩）	
	使用した ICT 機材 デジタルカメラ	活用のねらい・工夫 ・自分のグループで学習課題を持って行動する。 (課題) 川とごみ 川と生き物 川とよごれ 川のすがた 川と生活今昔 ・実際の大和川を探検しデジカメを活用して見学したことを記録する。 ・また、調べてみたい内容を深く追究する意欲を育てる。
	展開 授業時間 （ 6 ～ 8 ）	学習内容 大和川的环境について考えよう 1 ○大和川のひみつ（各班の課題）をさぐろう。 3（協働学習）
ふりかえり 授業時間 （ 14～ 18 ）	使用した ICT 機材 インターネット P C 又はノート PC コ ン テ ン ツ (Yahoo や Google 検索)	活用のねらい・工夫 ・インターネットを活用して必要な情報を収集したり、整理したりする。 ・収集時に資料について取捨選択するためのコミュニケーションの時間を十分取り、自分達にとってわかりやすい言葉に置き換える。 ・必要な画像を選択し、プレゼン発表時使用できるよう保存する。
	使用した ICT 機材 ノート PC ・ピッケのつくる プレゼン ・ウェブ	活用のねらい・工夫 ・環境会議では、各班の発表をもとに、自分達が実際にできることを考えるようにする。 ・意見交換や議論をすることにより、他者の気づきにも共感し、新し方向性の発見や学びに対する喜びを感じさせる。 ・Web 上で発信することで、共感する他者とつながる。